



RSウイルス

ご家族の中に、特に小さいお子様の風邪の症状が長く続いていたりしませんか？
もしかしたらRSウイルスにかかっているかもしれません。
このRSウイルスは感染力が強く、家庭内の中で広がること多い病気です。
重症化することもありますので、気を付けなければならない病気です。
どうすれば感染は防げるの？症状は？いろいろな疑問を解決していきましょう。

RSウイルスとは？

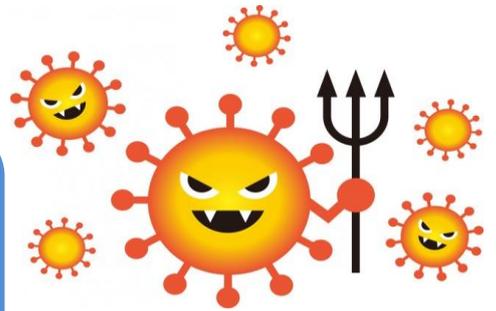
RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、2歳までにほぼ100%の乳幼児が感染するといわれている身近なウイルスです。

一度かかったら二度とかからないというわけではなく、何度も感染と発病を繰り返します。

以前は9月頃から流行し、初春まで続くとされていましたが、近頃は夏季より流行が始まるようになってきました。

RSウイルスは感染力が強く、家庭内や幼稚園などの施設内感染で広がっていきます。

また、新型コロナウイルスの感染対策により、昨年はRSウイルスが流行せず、多くの子供が免疫を持っていません。そのため、今夏、RSウイルスの感染が急増しています。



症状は？

〈注意が必要な症状〉

◎呼吸数が多くなる



◎痰がっまってゼイゼイするような咳が出る



◎水や母乳を飲まない



◎苦しげに呼吸する



〈とくに呼吸器や心臓に疾患を持つ子どもは注意〉

〈乳幼児は急性気管支炎、肺炎を起こしやすい〉



鼻水、咳、発熱などのかぜ症状があり、多くの場合1～2週間で治ります。
しかし生後1年以内、特に生後6か月以内の乳児や未熟児、循環器系の疾患を有する幼児では重症化しやすい傾向にあります。
喉、気管、気管支、肺など呼吸器に感染するため、感染初期は鼻水や発熱、咳などの症状が現れ、症状がひどくなると呼吸困難に陥る可能性もある病気です。

予防法はありますか？

手洗い、消毒をしてください

RSウイルスは、感染者の咳、くしゃみに含まれるウイルスを吸い込んだり(飛沫感染)、ウイルスの付着したもの(ドアノブなど)に触れたりすること(接触感染)で感染します。

風邪の予防と同じように、手指消毒(接触感染から守る)やマスクの着用(飛沫感染から守る)で予防することができます。

二歳までの感染率が高いので、繰り返し感染することによって免疫力を高めていきます。大人は感染しても軽症で済みますが、乳幼児が感染すると重症化することがあります。

ただの風邪だと思わず、RSウイルス感染の可能性を考えて早めに検査しましょう。



検査は時間がかかりますか？

30分程度です。

インフルエンザ検査のように、鼻に綿棒を挿入して鼻の中の組織を採取します。

およそ30分程度で結果がわかります。



詳しく知りたい方は、医師にご相談ください。